

2020年10月25日 SVJ オビディエンス競技会（BH 併催）
オープン飛び級 OK どの犬種でも出場可能 だれでも出場できます
福岡県直方市 直方総合庁舎東側 遠賀川河川敷公園

SVJ オビディエンス全般規定

○OB1～3は6ヶ月齢から出場できます。OB4～6は12ヶ月齢から出場できます。
○ <u>段階受験について</u> 原則として、新規受験・出場犬はOB1からの段階受験でなければなりません。ただし、重複出場可能パターン、 オープン競技会には適用されません。オープン競技会（開催地域で年一回程度）の場合、どのクラスでも飛び級で出場できます。
○OBH合格犬（他団体や国外取得のBHでもOK）は段階受験の必要がありません。どのレベルからでも出場／受験できます。
○総合得点70%以上（40点満点であれば28点以上）で合格となり、次の競技会には一つ上のレベルで出場できます。昇級せずに同じレベルにとどまって出場する。あるいは、これまでの合格済みレベルで出場することも可能です。
○昇級はSVJ訓練試験でも可能です。2つのレベルを受験することも可能です。例：（新規受験でOB1+OB2）（OB1の犬がOB2+OB3）（OB2の犬がOB3+OB4）
○ <u>競技会の重複出場について</u> NEW 次の組み合わせに限り重複出場できます。 現段階レベルと一つ上のレベル（例：OB3の犬がOB3+OB4） 現段階レベルと下のレベル（例：OB3の犬がOB3+OB1 or OB2） 合格済みレベルと一つ上のレベル（例：OB3の犬がOB1 or OB2+OB4）
○ <u>シニアオープンの部</u> 出場条件は犬の年齢6歳以上のみ（その他一切不要）。OB4の規定で行います。
○プロが自己所有犬で出場できるのはOB4からの段階受験とします（BH必要なし）。プロは自己所有犬でOB1～3に出場できないということです。自己所有犬でなければOB1～3に出場できます（ただし段階受験であること）。
○どのレベル、どの課題においても犬の大きさに合わせて歩幅を調節してもよい。
○小型犬が前進を行う場合、スタート地点（基本姿勢地点）を前方に移動してもよい。
○すべてのレベル、どの課題においても、前進の命令時以外、手あるいは体での合図は禁止。命令（声符）のみで行うこと。
○リードは左手で持つ（それができない理由があるときは右手でもよい）。
○首輪は一般的に市販されているものを使用する。首輪にリードを装着するときは締め状態にならないようにすること。スパイク首輪は使用禁止。

2020年10月25日 SVJ オビディエンス競技会（BH 併催）
オープン飛び級 OK どの犬種でも出場可能 だれでも出場できます
福岡県直方市 直方総合庁舎東側 遠賀川河川敷公園

オビディエンス 1（一頭で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 10 歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し 5 歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外してもよい） 基本姿勢から「フセ」→10 歩離れる→呼び寄せる 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬からリードを持ったまま（放してもよい）2 歩離れる→30 秒

オビディエンス 2（一頭で行います）

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 20 歩
2	<u>リード付き座れ待て</u> 基本姿勢から「スワレまたはマテ」→静かに手からリードを放し 10 歩離れる
3	<u>リード付き伏せて待つと呼び寄せ</u> （リードを外してもよい） 基本姿勢から「フセ」→20 歩離れる→呼び寄せる 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬から 10 歩離れる→1 分

オビディエンス 3（一頭で行います） 課目 2、3 はリード付なしどちらでも可

1	<u>リード付きで行進</u> （群衆なし） IGP コース・常歩のみ・最初の直進は最低 30 歩
2	<u>常歩行進中の座れ</u> 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる 座れを命令する前に立ち止まってもよい（停止→犬は指示なしで座る→命令「座れ」→離れる）
3	<u>常歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 伏せを命令する前に立ち止まってもよい（停止→犬は指示なしで座る→命令「伏せ」→離れる） 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>リード付き休止</u> （単独・犬を見てもよい・リードを持つのは犬が座ってから） 伏せた犬から 20 歩離れる→1 分

2020年10月25日 SVJオビディエンス競技会（BH 併催）
オープン飛び級 OK どの犬種でも出場可能 だれでも出場できます
福岡県直方市 直方総合庁舎東側 遠賀川河川敷公園

オビディエンス 4（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>ノーリードで行進</u> （群衆あり） IGP のコース（最初の直進は 50 歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	<u>常歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れて背中を向けて立つ。ペアの犬が課題 3 常歩行進中伏せと呼び寄せを終えたあと、審査員の指示で犬のもとに戻り、犬の右側に立ち、審査員の指示で座れを命令して基本姿勢をとる。

オビディエンス 5（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	<u>ノーリードで行進</u> （群衆あり） IGP のコース（最初の直進は 50 歩）
2	<u>常歩行進中の座れ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	<u>常歩行進中の伏せと呼び寄せ</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	<u>常歩行進中の立止</u> （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で立止を命ずる→15 歩離れる
5	<u>物品持来</u> 指導手のダンベル（一般的な形状であれば、材質、色、テーピングなどは特に制限なし） 投げる前に「待て」を命令してはいけない。 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
6	<u>休止</u> （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れて背中を向けて立つ。ペアの犬が課題 5 物品持来を終えたあと、審査員の指示で犬のもとに戻り、犬の右側に立ち、審査員の指示で座れを命令して基本姿勢をとる。

2020年10月25日 SVJ オビディエンス競技会（BH 併催）
オープン飛び級 OK どの犬種でも出場可能 だれでも出場できます
福岡県直方市 直方総合庁舎東側 遠賀川河川敷公園

オビディエンス 6（2頭一組で行います／一頭は行進からもう一頭は休止から）

1	ノーリードで行進 （群衆あり） IGP のコース・最初の直進は 50 歩
2	常歩行進中の座れ （ノーリード） 常歩 10～15 歩の間で座れを命ずる→15 歩離れる
3	速歩行進中の伏せと呼び寄せ （ノーリード） 常歩 10 歩→速歩 10～15 歩の間で伏せを命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
4	速歩行進中の立止と呼び寄せ （ノーリード） 速歩 10～15 歩の間で立止を命ずる→30 歩離れる→呼び寄せ 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
5	物品持来 指導手のダンベル（一般的な形状であれば、材質、色、テーピングなどは特に制限なし） 投げる前に「待て」を命令してはいけない。 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
6	障害飛越と物品持来 指導手のダンベル・障害の高さは任意（ただし犬の体高以上） 正面停座を行ってから、あるいは直接ハンドラーの左に座る。どちらでもよい。
7	前進と伏せ 常歩 10～15 歩の間で前進を命ずる→約 30 歩前進→伏せ
8	休止 （ペアの服従が終わるまで） 伏せた犬から 30 歩離れてテントの中に入る。ペアの犬が課題 6 障害飛越と物品持来を終えたあと、審査員の指示で犬のもとに戻り、犬の右側に立ち、審査員の指示で座れを命令して基本姿勢をとる。

